



「戦争と平和」アンケート

1. 原爆や私の平和宣言などから感じたこと、考えたことなどを書いてみよう。

- 日本は平和になったけど、他の国には戦争で死者が多数出ている国があります。戦争をなくせばもっと幸せになると思います。
- 世界が平和になればいいなあと思いました。
- もっと戦争のことを詳しく知りたいと思いました。
- あらためて、ずっと平和が続いてほしいと思いました。自分にできることからはじめたり、意識していきたいと思えます。
- これからも平和な日々が続いてほしいと思いました。
- 平和は大切だと思った。
- 暴力はいけないと思う。
- 「私の平和宣言」はとても良いと思えます。こういうことを世界中の人々が守って、生活できたら争いはなくなるのになあ...と思えました。日本は世界で唯一、原爆を落とされた国で、たくさんの人々が8月6日と7日に亡くなりました。今は戦争の面影などほとんどなくなってしまって、戦争や原爆を知らない人が増えてきています。でも、それはとても良くないことだと思えます。また同じ事を起こさないためにも、原爆のことは語りついでいかななくてはならないと思えます。今も世界のあちこちで、紛争をしていて、たくさんの人々が亡くなっています。私は早く平和で皆が仲良く暮らせる日が来ればいいなと思えます。
- 核兵器をなくせば良いってものじゃないと思う。戦争をなくしたとしても、世界中が幸せになるということではできないと思う。私は原爆を体験したことがないから分からないけれど、ビデオなどを見てとても怖いと思う。実際に体験した人の話を聞くと、どれだけすごいものかがよく分かった。今の技術を使って核兵器を作ったら、地球が吹っ飛ぶと思うと恐ろしい。罪のない人とか反対している人がいるのに、戦争をする国は頭がおかしいのではないかと感じてしまう。とにかく戦争と原爆には反対する。
- 原爆が落とされた時、僕は生まれていなかったけれど、テレビのニュースや本などの資料を見ると、当時生きていた人たちの苦しみや悲しみが心に伝わってきて、胸が苦しくなります。最近のニュースで原爆にあった人が当時のことを語っていたけれど、「語る」ということはその当時のことを「思い出す」ことなので、語るだけでも辛いのだと思えました。あと、デパートの近くにある大通りで、「世界から核兵器をなくそう運動」をやっていたので、僕もそこに名前を記入しました。僕も大きくなったら、そんな人達と共に、核兵器をなくすための運動をしたいと思えます。
- 世界では中東あたりを中心に頻繁に紛争が起こっている。僕はずっと前から、なぜ戦争はずっと終わらないのだろうと疑問に思っただけで、そのような争い事は、人の気持ちを良く考え、よく理解すればなくなると思えます。今からでも、学校にもある「いじめ」などの争いごとをなくす運動をできればしてほしいです。もし全世界が平和だったら、世界中の一人ひとりが気持ちよく生活できるのではないのでしょうか。
- 原爆は争いがある限りなくなると思えます。でも世界中の人が協力して、原爆が亡くなることを願えばなくなるかもしれない。原爆の恐ろしさを体験したことがないから分からないけれど、当時の写真などを見ると、とても怖いものなのだなと思えました。平和の鐘を鳴らそう運動の資料を見て、

世界では他にも、戦争以外にも色々な問題があることを知りました。

- 戦争についての授業は学校でも何度かする機会がありました。私は戦争で何か得るものはあるのだろうか、と考えました。でも結局、答えは何も見つかりません。戦争や争いで何か失うのはもう止めてほしいと思います。世界ではまだまだ紛争や内紛があります。私は少しでもそんなものをなくしてほしいと思います。
- 戦争というものを私達は知りません。知っていることといえば、「火垂るの墓」です。爆弾が落ちてきて、節子の母が焼かれて、虫がすごくついていました。戦争や原爆で喜ぶ人もいないし、やるだけ無駄だと思います。悲しむ人が増えるだけの戦争には反対です。
- 戦争では多くの命がなくなるので、世界中からこの様なことがなくなってほしいと思った。
- 平和の大切さを実感することができました。今私達がこの様に平和に暮らせていることは、「戦争はだめだ」と伝えてくれた人達のお陰だと思います。私達はこの思いを引き継ぎ、平和な世の中を維持していきたいと思います。今回はとても良い勉強ができました。
- 戦争は、とても悲しいことだと思いました。やっぱり平和がとても大事なことだと思いました。世界中が争いのないようになってほしいです。そして皆が幸せな世界になるように、話し合いや相談アドでまとまるようにするのいいと思います。二度と絶対に戦争はしてはいけません。
- 今回の話を聞いて、戦争はあってはいけないことだと思いました。昔の日本はものすごく馬鹿だなあと思いました。もし機会があったらヒロシマに行ってみたいと思いました。けれども、残念なことに科学的技術が発展したのは戦争のおかげなんだなと思った。誰もが「戦争はいけない」と思っていたのに、日本には戦争ゲームがたくさんあるのはなぜだろうか。
- 原爆や戦争についてよく知ることができました。特に日本は帝国主義なので、原爆を落とされても降伏しないというところに驚きました。この頃の日本が人の命をどう考えていたのかがよく分かり、今の平和がとても良いものだ分かりました。日本は唯一の被爆国なので、このことを周りの国にもっと積極的に話し、日本の「持たず・つくらず・持ち込ませず」を浸透させた方が良くと思います。
- 平和である状態がとてもありがたいことが分かりました。これからの日本を平和に保つことが大切だということが分かりました。
- 原爆はとてもおそろしい。
- 戦争があったときには生まれていなかったけれど、こういうお話や資料などを見ていて、原爆や戦争などの怖さを知ることができました。最後に、もう二度と戦争は起きないでほしいと思いました。
- 僕は、核兵器についての問題を話し合うよりも、まずは戦争をなくすことを目指してほしいと思った。世界にはお金を使って戦争をする国がありますが、人を悲しい気持ちにするためにお金を使うのではなく、貧しい人々を救うために使ってほしいと思いました。
- 平和宣言について。6つの言葉があり、どれも平和になるために必要なことばかりです。しかし、宣言は宣言であって、実行するのは私たち「ヒト」です。有言実行という言葉があります。言ったことを実行・実践することです。私達はそれが出来ているのでしょうか。学校の道徳で「命を大切にしましょう」「差別をしてはいけません」ということを習います。なのに、どうして人が人を殺すのでしょうか。どうしていじめが起きるのでしょうか。何故、みんなで仲良く生きていけないのでしょうか。宣言をすることは第一歩です。そうしたら第二歩は、「どうすればみんなで実行できるのか」ということを考えることではないのでしょうか。
- 「私の平和宣言」を読んで、6つともとても大切なことだと思ったので、これから平和宣言を心がけようと思いました。
- 原爆は落としてはいけないものだと思った。
- 原爆は、街を滅ぼしてしまう兵器で、僕は怖いと思いました。だから原爆はいけないと思いました。
- 戦争はやってはいけないことだと思った。
- 原爆は怖い。戦争はしてはいけないもの。平和は永遠に守らなければならないもの。私達はそれを心に刻んでこれから生きていきたいと思いました。戦争は誰も幸せにならない。戦争は人を幸せにしない。

- 僕は戦争を経験したことはありませんが、戦争や核兵器があってはならないということはよく聞いていました。けれども、原爆の恐ろしさははっきりと分かっていませんでした。この文章を読んで、原爆の恐ろしさがよく分かりました。こんなものは存在してはならないものだと思います。
- 戦争は二度とやってはいけないと思った。
- 原爆は人間の全てを奪い、悲しくさせるものだと思う。原爆を排除することが大切。人が人の命を奪うことは許されない。人の命を奪う権利はない。人は平和を大切にすること。
- このような悲劇が二度と起こらないように気をつけながら、生きていきたい。
- 僕は原爆は作ってはいけないもの、使ってはいけないものだと思います。なぜなら多くの人を殺し、大怪我をさせ、多くの人を苦しめるものだからです。なぜ戦争といった多くの人が死んでしまうことを始めたのか。なぜ他の国などのことを考えることが出来ずに、自分の国のことばかり考えて争うのか。他の国のことを考えれば、争いごともなく平和に暮らせたと思います。だから僕は、これからの日本は他の国と仲良くして争いごとを起こさないような国にしてほしいと思いました。
- 原爆はとても恐ろしくすごい物なんだと感じました。けれども、戦争が投下された時、戦争が起こっていなかったら、世界中が平和だったら、こんなことはなかったと思います。今、日本では戦争が起こっていませんが、世界では様々な所で起こっています。日本は平和になりましたが、世界中が平和になったわけではないので、僕たちがそれに対して何が出来るかを考えなければいけないと感じました。
- 原爆ドームが「負の世界遺産」と呼ばれているのを初めて知りました。何故、日本に原爆を落とす必要があったのか。もっと弱い爆弾ではいけなかったのか。そこまでやられるような悪いことを日本はしたのか。人類史上初の原爆が日本に落とされたのは残念です。この前テレビで、原爆で今も苦しんでいる人のインタビューをしていた。何か悲しくなった。それと同時に日本も悪い所があって、それがアメリカを怒らせたのかなど、いっぱい思い浮かんだ。いつもは、最後まで見ないニュースを最後まで見た。怖いと思った。原爆に少し興味がわいた。
- 原爆は全てを奪い取る大変な核兵器だと思いました。このようなものを二度とつくってはいけないと思いました。平和はとても嬉しいものだと感じました。普通に生活しているのが平和なんだなと思います。こんな平和をずっと続けていきたいです。
- 3000度の熱線や放射線、秒速440mの爆風などが起こる原爆がものすごく恐ろしいものだと感じました。また、こういうものを作ってしまう人間の科学も恐ろしいと感じました。
- 僕たちは接原爆の被害にあったわけではないので、実際に被害にあった人の気持ちを完全に理解することは出来ません。けれどもこの原爆の話を書く度に、僕は思うことが一つあります。それは、この出来事を忘れてはいけないということです。被害にあった人々のために、その痛みや苦しみ、悲しみを決して忘れずに生きていくということが、今の僕たちに出来ることなのだと思います。
- 原爆は爆発で死んでしまう人、汚染された黒い雨に濡れて白血病になって死んでしまう人、それにその親から産まれてくる子どもが霜害を持ってしまったりしてかわいそうだなと思った。
- 人類史上初の核兵器が日本に落とされ、これで一瞬にして一つの都市がなくなってたくさんの方が死んで、つらい思いをして、悲しい思いやいろいろな思いをした人達がいると思うと、戦争は何もいいことがないと思った。原子爆弾は普通の爆弾よりもすごさが全然違うと言われてもあまり想像がつかないけれど、一瞬にして何もかもがなくなるのは恐ろしいし、恐ろしすぎると思った。まだ幼い子達も工場で働かされたり、家族と離ればなれになってさみしい思いをする人達ばかりで、戦争中は誰も幸せと感ずることができない日々は、私は絶対に堪えられないと思うから、この時を生きていた人はすごいと思う。
- 僕はこの文章を読んで改めて原爆の恐ろしさを感じました。戦争のないこの国日本で毎日のんきに暮らしていますが、当時の人々が毎日避難していたと知った時、なんだか自分が情けなくなってきました。新たな気持ちを持って、終戦日を迎えたいです。
- 原爆が長崎と広島に投下された時はかわいそうだなと思いました。アメリカ軍が投下する理由は何だろうと思いました。地表の温度も高いし、鉄が溶ける温度に達していたのはすごいと思いました。
- なぜ、自分の命を犠牲にしてまでも、戦争をするのか疑問に思いました。原爆が投下された写真を見

ると、改めて戦争の悲惨さを感じます。怪我や放射線などの影響による病気が原因で、数ヶ月後に亡くなる人がたくさんいたり、小さな子どもや赤ちゃんまでもが命を落としていることを考えると、今自分が平和に生きていることがとても幸せに思います。しかし未だに戦争をしている国々があります。そのような国々をなくし、世界が平和になることを願っています。また、これからは戦争で亡くなった人々のことを思いながら、自分の命を大切に、誇りを持って生きていきたいとします。

- 終戦から 65 年が経って、現在では当時の様子を知る人々が少なくなってきました。仕方ないことだろうけど、やっぱり実際にその辛さを味わった人達本人に聞く方がとても理解しやすいと思います。日本に初めての原爆が落とされてやっと戦争を終えたわけですが、何故負ける一方だったのにもっと早く止めなかったのか。一日でも早く止めていれば、こんなに多くの死者、負傷者は出なかったのに。無謀だったと思います。二度とこんなことが起こってほしくないです。
- 原爆はとてもすさまじい力があって、1 発で 14 万人が亡くなったので、家を失った人経ちは悲しいと思いました。
- 人々が戦争を起こして原爆が投下され多くの犠牲者が生まれました。その時は僕は生まれていなかったのによく分からないが、原爆ドームの写真から原爆の恐ろしさが分かりました。僕はこうして日々普通に暮らしていますが、これは普通ではなく、一日一日生きていられることが幸せなんだと考えました。僕たちは今後戦争を起こしてはいけないと思った。
- 第二次世界大戦が始まり、日本はポツダム宣言を出された時、日本は何故降伏をしなかったのか。降伏しておけば、多くの人々が原爆で命を落とすことはなかっただろう。私は平和とは争いのない世界だと思っています。争いが起これば、人が命をなくすのと同じです。今は平和ですが、まだ一部戦争をしている国があります。その戦争がなくなって、世界が仲良くなれば戦争が起こることはないと思います。戦争のない平和な世界を望んでいます。
- 私は、原爆ドームについて知った時に、その当時は戦争でほとんどの人が働いていて、日本が勝つために大変だけど頑張っていたのだと思いました。原爆が投下されて多くの人々が亡くなっていき、戦争はいけないと改めて思いました。この他にも、残った家族の悲しさ、後遺症があって悲しいと思いました。ですから、もう戦争はやっていけないと思います。
- この文章を読んで、戦争の恐ろしさがよく分かる。戦争だけでもとても嫌なことなのに、原爆までが落とされ、人々はたくさん死んでいき、14 万人という多くの人々が亡くなった。14 万人といっても想像はつかないけれど、とにかくたくさんの人だということだ。小さなケンカとは違い、生きている者全てが関わることで、小さな子どもやお年寄りまでもが、戦争に行かなくても亡くなっているのだ。子ども達は親から離れ、見知らぬ地で話したこともない人と生活するのは自分は嫌だが、この時代はあり得ないようなことがあり得る時代だ。日本だけしか原爆は落とされていなが、これからどこかの国に落とされるかもしれない。アメリカなどの大都市に落とされればまた大変なことになる。だから今後、日本を最後にして、平和を保ち、戦争のない世界を目指すべきだ。

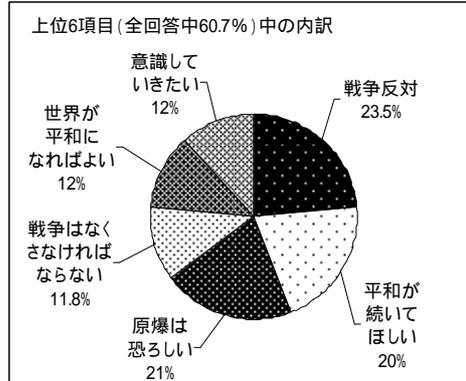
平和に関するアンケート結果

実施 2010年8月12日 対象 中学3年生 回答数 54名

1. 原爆や私の平和宣言などから、感じたこと、考えたことなどを書いてみよう（複数回答）

(回答数 / 全回答に占める割合)

1 戦争反対	8	14.3%
2 平和が続いてほしい	7	12.5%
3 原爆は恐ろしい	7	12.5%
4 戦争はなくなさなければならない	4	7.1%
5 世界が平和になればよい	4	7.1%
6 意識していきたい	4	7.1%

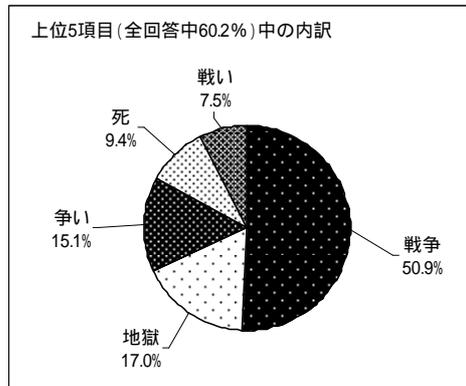


2. 自分の身の回りの「平和」について考えてみよう（複数回答）

(1) 「平和」の反対の言葉は何かを考えてみよう（複数回答）

(回答数 / 全回答に占める割合)

1 戦争	27	30.7%
2 地獄	9	10.2%
3 争い	8	9.1%
4 死	5	5.7%
5 戦い	4	4.5%



(2) 「クラス」や「学校」で争いごとはありますか？（複数回答）

(回答数 / 全回答に占める割合)

1 特にない	25	54.3%
2 あると思う	5	10.9%
3 給食の取り合い	5	10.9%
4 けんかがたまにある	3	6.5%
5 担任との口論	2	4.3%

